



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月10日

上場会社名 株式会社フォーパルテレコム 上場取引所 東
コード番号 9445 URL <https://www.forvaltel.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 行 辰哉
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 山本 忠幸 TEL 03-6825-4086
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	5,991	12.7	182	△3.1	195	2.3	107	△56.6
2026年3月期第1四半期	5,316	△5.1	188	44.4	191	41.0	247	237.1

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 107百万円 (△56.6%) 2026年3月期第1四半期 247百万円 (237.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	6.42	—
2026年3月期第1四半期	14.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	10,172	3,830	37.7
2026年3月期	10,728	3,941	36.7

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 3,830百万円 2026年3月期 3,941百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	10.00	—	13.00	23.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		11.00	—	14.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	26,400	10.1	1,380	11.4	1,400	11.0	900	△8.7

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	16,757,700株	2026年3月期	16,757,700株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	1,741株	2026年3月期	1,741株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	16,755,959株	2026年3月期1Q	16,755,990株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における経済環境は、継続的な物価の上昇や国際情勢による資源・エネルギー価格の変動、米国の貿易政策の動向による景気の下振れリスク等により、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが中核的な事業領域とする情報通信分野では、移動系超高速ブロードバンド接続サービスの契約数が拡大し、ビジネスにおける効果的な活用や急増したデータ量への対応・セキュリティ対策が課題となっております。

このような環境の下で、当社グループは、法人向けVoIPサービス、法人向けFMC (Fixed Mobile Convergence) サービス、個人向けインターネットサービス等「IP & Mobileソリューション・ビジネス」と位置付ける利便性の高いサービスの拡販を中心に、中小法人及びコンシューマ向けの各種サービスを提供しております。

具体的には、当社においては、光回線サービス「iSmartひかり」、法人を対象とした光ファイバー対応IP電話「スマートひかり」及びスマートフォンを利用したFMCサービス「どこでもホン」、並びに個人を対象としたISPサービス「iSmart接続-Fひかり」を中心に、合わせて情報通信機器等を提供しております。

また、当社においては、法人顧客に登録小売電気事業者として「Elenovaでんき」及び登録ガス小売事業者として「Elenovaガス」を提供しており、本サービスを「ユーティリティ・ビジネス」と位置付けております。

また、当社及び当社連結子会社である㈱保険ステーションとタクトシステム㈱においては、主に法人顧客に対し「コンサルティング・ビジネス」を提供しております。

これらにより、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が59億91百万円（前年同四半期比12.7%増）となりました。これは主に「ユーティリティ・ビジネス」において、保有件数の増加に加え、電力の売上単価が上昇したこと等によるものであります。

一方、利益面におきましては、販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は1億82百万円（前年同四半期比3.1%減）、経常利益は1億95百万円（前年同四半期比2.3%増）に留まりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年同四半期に計上した子会社の株式売却益の差分等により、1億7百万円（前年同四半期比56.6%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

《IP & Mobileソリューション・ビジネス》

「IP & Mobileソリューション・ビジネス」は、VoIPサービス、モバイルサービス等の情報通信サービス全般を提供しております。個人を対象としたサービスの利用件数の減少等により、当第1四半期連結累計期間の売上高は22億28百万円（前年同四半期比5.2%減）、セグメント利益は2億59百万円（前年同四半期比13.9%減）となりました。

《ユーティリティ・ビジネス》

「ユーティリティ・ビジネス」は、電力と都市ガスを提供しております。電力において、契約件数の堅調な伸びと売上単価の上昇により、当第1四半期連結累計期間の売上高は28億15百万円（前年同四半期比35.5%増）、セグメント利益は2億20百万円（前年同四半期比22.8%増）となりました。

《コンサルティング・ビジネス》

「コンサルティング・ビジネス」は、経営支援コンサルティング、保険サービス、セキュリティサービス、コンテンツソリューション及びDXコンサルティング等を提供しております。コンテンツソリューションの販売計画の前倒し及び保険サービスとクラウドサービスの伸長により、当第1四半期連結累計期間の売上高は9億47百万円（前年同四半期比6.7%増）、セグメント利益は47百万円（前年同四半期比6.0%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は101億72百万円となり、前連結会計年度末比5億56百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金の減少（2億57百万円）及び受取手形、売掛金及び契約資産の減少（1億18百万円）によるものであります。

負債の残高は63億41百万円となり、前連結会計年度末比4億46百万円の減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少（57百万円）、未払法人税等の減少（1億64百万円）及び賞与引当金の減少（90百万円）によるものであります。

純資産の残高は38億30百万円となり、前連結会計年度末比1億10百万円の減少となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び剰余金の配当によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年5月15日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,176,785	919,065
受取手形、売掛金及び契約資産	3,942,230	3,823,589
商品及び製品	68,612	56,628
仕掛品	19,077	16,039
原材料及び貯蔵品	476,949	513,240
未収入金	1,566,341	1,717,505
前払費用	794,058	823,702
その他	36,155	31,380
貸倒引当金	△41,247	△43,607
流動資産合計	8,038,962	7,857,544
固定資産		
有形固定資産	100,785	111,843
無形固定資産		
のれん	85,206	70,393
その他	935,253	957,927
無形固定資産合計	1,020,460	1,028,321
投資その他の資産		
長期前払費用	841,027	851,844
破産更生債権等	121,038	125,206
その他	716,482	310,844
貸倒引当金	△109,771	△113,519
投資その他の資産合計	1,568,777	1,174,376
固定資産合計	2,690,023	2,314,541
資産合計	10,728,985	10,172,086
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,958,478	2,901,458
未払金	2,700,097	2,642,380
未払法人税等	212,571	48,215
賞与引当金	145,177	54,686
役員賞与引当金	84,200	24,230
その他	459,124	437,976
流動負債合計	6,559,650	6,108,948
固定負債		
退職給付に係る負債	203,104	207,365
その他	25,065	24,900
固定負債合計	228,169	232,265
負債合計	6,787,820	6,341,214

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	553,660	553,660
資本剰余金	53,660	53,660
利益剰余金	3,334,481	3,224,188
自己株式	△637	△637
株主資本合計	3,941,165	3,830,872
純資産合計	3,941,165	3,830,872
負債純資産合計	10,728,985	10,172,086

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	5,316,743	5,991,655
売上原価	4,067,510	4,679,408
売上総利益	1,249,233	1,312,246
販売費及び一般管理費	1,060,897	1,129,671
営業利益	188,335	182,575
営業外収益		
違約金収入	—	9,019
利用料収入	3,681	4,114
その他	1,202	1,436
営業外収益合計	4,883	14,570
営業外費用		
支払利息	650	560
貸倒引当金繰入額	48	—
長期前払費用除却損	1,219	—
支払補償費	—	846
営業外費用合計	1,918	1,406
経常利益	191,300	195,739
特別利益		
固定資産売却益	—	157
子会社株式売却益	58,690	—
特別利益合計	58,690	157
特別損失		
固定資産除却損	2,878	—
特別損失合計	2,878	—
税金等調整前四半期純利益	247,112	195,897
法人税、住民税及び事業税	4,927	42,743
法人税等調整額	△5,395	45,619
法人税等合計	△468	88,363
四半期純利益	247,580	107,534
親会社株主に帰属する四半期純利益	247,580	107,534

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	247,580	107,534
四半期包括利益	247,580	107,534
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	247,580	107,534

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	IP & Mobile ソリューション・ ビジネス	ユーティ リティ・ ビジネス	コンサル ティング・ ビジネス	小計		
売上高						
顧客との契約から生 じる収益	2,350,749	2,078,426	887,567	5,316,743	—	5,316,743
外部顧客への売上高	2,350,749	2,078,426	887,567	5,316,743	—	5,316,743
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,769	—	25,754	29,523	△29,523	—
計	2,354,518	2,078,426	913,322	5,346,267	△29,523	5,316,743
セグメント利益	301,027	179,350	44,790	525,168	△336,832	188,335

(注) 1. セグメント利益の調整額△336,832千円には、セグメント間取引消去△2,046千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△334,785千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門の一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	IP & Mobile ソリューション・ ビジネス	ユーティ リティ・ ビジネス	コンサル ティング・ ビジネス	小計		
売上高						
顧客との契約から生 じる収益	2,228,805	2,815,374	947,474	5,991,655	—	5,991,655
外部顧客への売上高	2,228,805	2,815,374	947,474	5,991,655	—	5,991,655
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,964	—	27,352	31,316	△31,316	—
計	2,232,770	2,815,374	974,826	6,022,971	△31,316	5,991,655
セグメント利益	259,035	220,187	47,494	526,717	△344,142	182,575

(注) 1. セグメント利益の調整額△344,142千円には、セグメント間取引消去242千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△344,385千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門の一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	85,341千円	93,773千円
のれんの償却額	14,812	14,812